

～「ubiquitous（ユビキタス）」とは「どこにでも存在する」を意味するラテン語。
「いつでも、どこでも、だれでも」関わることのできるネットワーク環境のこと～

須坂市立常盤中学校の取組 — 「常中ルール」を活用した家庭でのルールづくり—

今回は、生徒会で作成したルールを活用し、保護者とともにも生徒のインターネット利用の

家庭掲示用

インターネット・SNSを安全安心に使おう!

自分の心と体の健康を守ろう

- 午後10時以降は、インターネットなどの情報通信を使用しないようにしよう。
- テスト期間中3日前は、インターネットなどの情報通信を使用しないようにしよう。
- 使用時間は1日に平日1時間、休日は2時間以内としよう。
- 学習が必要なことでそれ以上使用する時は、保護者に了解を得よう。
- 優先順位を考え、睡眠時間、勉強時間、家族との時間を削ってまで、インターネット・SNSを使用しないようにしよう。
- 寝るときは枕元にスマホや携帯などインターネットに接続できる機器を置かないようにしよう。

私たちが平成28年度常盤中学校校友会では、インターネット・SNSの利用状況をともに、全校生徒が安全、安心に利用できるようにルールを作りました。これは、生活委員会が中心となって全校の皆さんとともに考えたものです。一人ひとりが、このルールを意識しながら、より快適で安全な中学校生活を作りましょう。

A君の場合
インターネットの使いすぎで「ネット依存」になり、生活習慣が乱れてしまい、学校生活に影響が出てしまった。

Bさんの場合
SNS上で他人への誹謗中傷を書き込んだり、いじめや脅迫の書き込みをした。それによって、送らない、退席しなさい、など、嫌な目にあった。

Cさんの場合
中学生だと思ってSNS上で知り合った人物と会う約束をし、住所を教えたところ実はその人物が中学生ではなく犯罪に巻き込まれてしまった。

友情を守ろう

- 人を傷つけたら、不機嫌になったり、不快に感じたりするようなら謝罪を促さなければならない。
- 相手や場所の特定ができる画像や動画を投稿しないようにしよう。
- 相手のどの相手とのやり取りは公開しないようにしよう。
- SNSなどの相手とのやり取りは非公開にする。
- SNSには、送らない、退席しなさい、など、嫌な目にあったら、すぐにブロックしよう。

プライバシーを守ろう

- 個人情報（氏名、年齢、住所、学校名など）を書き込まないようにしよう。
- 個人や場所の特定ができる画像や動画を載せないようにしよう。
- 誰の分からない、知らない人とのやり取りはしないようにしよう。
- インターネットではフィルタリングをし、危険なサイトへはアクセスしないようにしよう。

あなたは大丈夫?!

インターネットやSNSの利用のために削っている具体的な時間

食事の時間	5%
そのほか	9%
勉強時間	41%
家族の時間	30%
勉強以外の時間	15%

平成28年度 常盤中学校校友会作成

主体的なルールづくりを推進しようとしている須坂市立常盤中学校の取組について紹介します。

7月10日(火)の授業参観日には、生徒はSNSを利用したコミュニケーションについて学習し、保護者は授業参観後、インターネットの利用について、講演を聴きました。講演会では、生徒と同じ教材を使用し、SNSを介したインターネットの扱い等について考えました。

常中ルールは…

「自分の心と体の健康を守ろう」
「友情を守ろう」
「プライバシーを守ろう」

の3つの観点で構成。
(年度当初全家庭に配布、
H28年度いじめ防止子ども
全国サミットで紹介された)

「どう答えるべき？」ネットでのコミュニケーション(生徒編)



「グループトークでクラスの一人を無視しようとコメントを求められたとき、あなたはどのように答えますか」という課題について、各自の考えを付箋に記入し、班ごとに、注意・同調・傍観の3つに色分けされている画用紙に発表しながら貼りつけ、班内で意見交換をしました。その後 クラス全体の様子を黒板で確認しながら話し合いました。

1年生の教材(総合教育センターの教材)

【演習4】右のイラストは、ABCDEの5人でグループチャットをしている様子です。ある日、こんなトラブルが発生しました。

Aさん…テストで満点をとったAさんは、「テスト満点」と書き込みました。
 Bさん…Aさんの書き込みを見て、「Aうざい!」と書き込みました。
 Cさん…「オレもそう思う」とBさんに同調する書き込みをしました。
 Dさん…「外しちゃおう?」と、グループチャットからAさんを仲間外れにする提案を書き込みました。

さて、あなたはEさんです。このトラブルを解決するためにどうしますか?まず、あなたひとりでご考えてみましょう。その後、となりの友人に相談してみましょう。

生徒の感想

- 仲の良い友だちに書かれたら、ショックで人のことを信じられなくなる。だから絶対同調はしない。
- 文字だけでは伝わらないこともあるし伝わりにくい。自分が思っていることを、自分の言葉で伝えた方がよい。
- その場のノリで、そこにいない相手を傷つけてしまうことがないように自分の考えで行動したい。

よくないことだと分かっているけど、その思いをSNS内で表現することの難しさを学び、どのように行動することがよいか一生懸命考えました。

「どう答えるべき?」ネットでのコミュニケーション(保護者編)



PTA講演会では、上田千曲高校伊藤卓也教諭のお話を聞き、インターネット利用について学びました。まずは、生徒と同じ授業課題を体験し、一方向型のコミュニケーションの難しさや、子どもたちが日々直面している悩みを実感することができました。

後半では、「常中ルール」を家庭内でどのように活用しているか、グループで話し合いました。常中ルールには、家庭ではなかなか決めにくい時間的な約束、相手を思いやる気持ちや自分の守り方など、重要なことが多く記述されていることを再確認しました。その上で、各家庭での「常中ルール」のよい活用法や、子どもと一緒にどのようにルールづくりを推進していくか検討しました。

保護者の感想

- 当たり障りのない文面で会話する大人と違い、子どもはストレートに言ったり、友だちの言葉に簡単に同調したりするので、思いもよらないことに発展していく怖さを感じた。
- 子どもとどう向き合うか、押しつけでなく一緒に考えたい。
- 子どもを守るべき所はしっかりと守りたい。そのためにも常中ルールは重要であると思う。
- 親子だけでなくみんなでルールを守っていく雰囲気を作っていきたい。
- 常中ルールを子どもとともに繰り返し確認し、家庭でのルールづくりに役立てたい。
- 今一度、子どもと一緒に今日の資料と常中ルールを読み、一緒に家庭のルールを考えたい。

常盤中学校のように、学校が保護者と連携した取組をすることがとても重要です。この取組を参考にし、各学校の状況に合わせて、学校、家庭が協力して、生徒による主体的な取組を支援していくことが重要だと思います。

※「ユビキタス@nagano」のバックナンバーや指導資料などをダウンロードできます。
 長野県教育委員会HP > 生徒指導
 URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/index.html>

生徒指導総合連絡会議事務局 担当：長野県教育委員会事務局 心の支援課 生徒指導係
 Tel 026-235-7436 (直通) Fax 026-235-7484 E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp